

厚生労働省北海道労働局発表
令和4年9月20日

担当
厚生労働省
北海道労働局労働基準部安全課
課長 八反田 健
副主任産業安全専門官 鍋岡 順子
代表電話：011-709-2311（内線 3552）
直通電話：011-788-6327

報道関係者 各位

令和4年の死亡労働災害による被災者は25人に

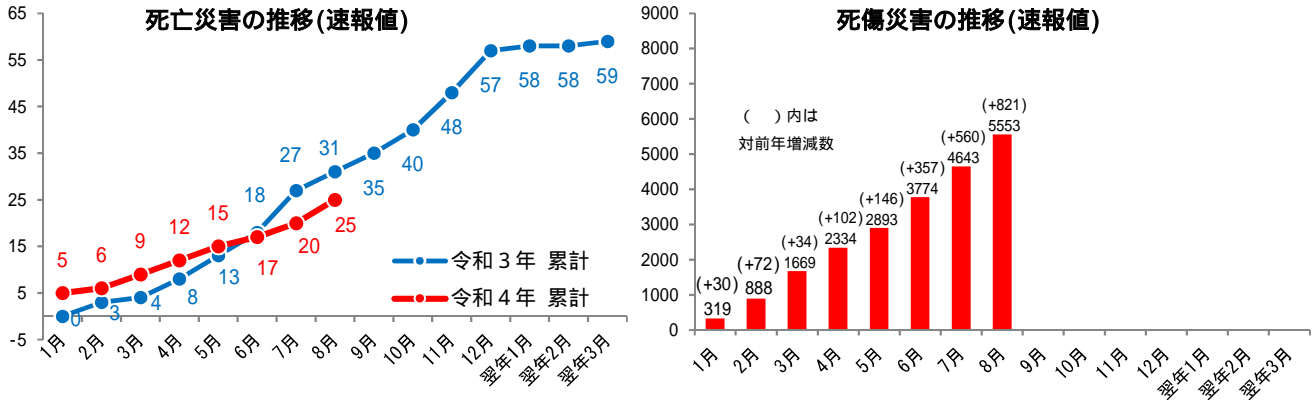
～令和4年の北海道内の労働災害発生状況(令和4年8月末現在速報値)～

北海道労働局(局長 友藤智朗)は、令和4年の労働災害発生状況(令和4年8月末現在速報値)について取りまとめたので、その内容を公表します。

令和4年の死亡労働災害は8月に5件発生し、増加しています。また、このうち3件が建設業であり、死亡災害全体に占める割合をみても建設業が昨年同期の38.7%から40%に増えており、今後の増加が懸念される所です。建設業は例年10月から12月に労働災害が多発する傾向にあることから、墜落・転落災害防止などを重点にパトロールに取り組むなど、災害防止に努めましょう。

1 労働災害の月別推移

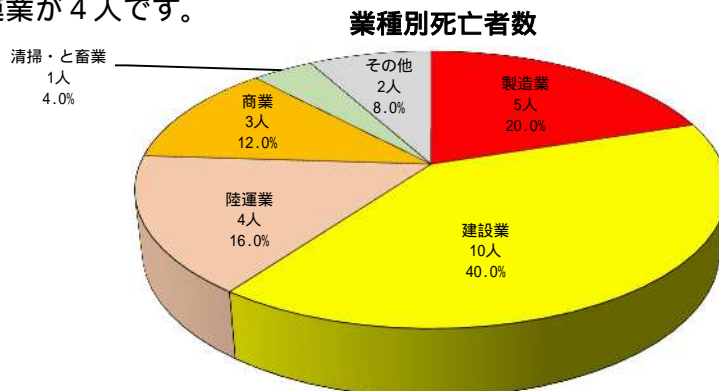
令和4年8月末現在の道内の労働災害による死亡者数は25人で、前年同期と比べて6人減少しており、休業4日以上の死傷者数は5,553人で、前年同期と比べて17.3%増加しています。



2 死亡災害発生状況

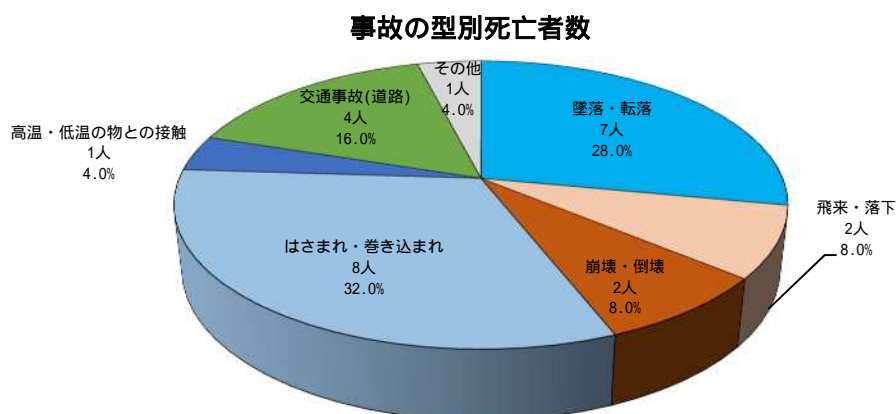
(1) 業種別の状況【資料番号1】

業種別では、建設業において10人と死亡災害の40.0%を占めており、次いで製造業が5人、陸運業が4人です。



(2) 事故の型別の状況【資料番号2】

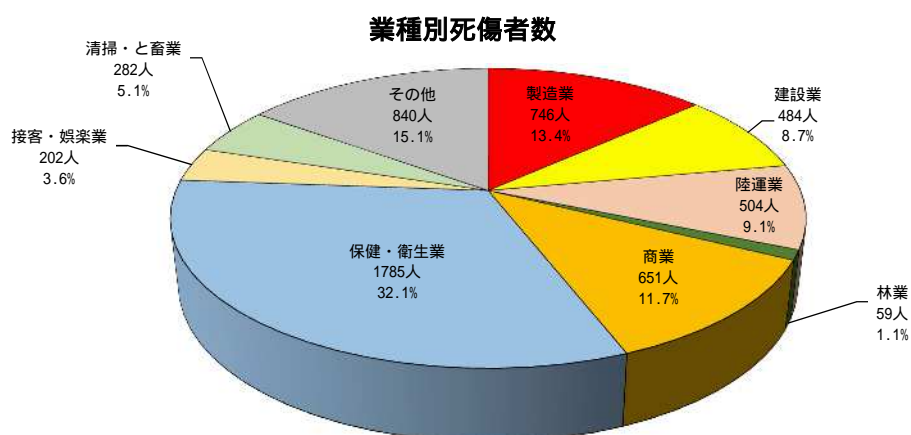
事故の型別では、「はさまれ、巻き込まれ」が8人、「墜落・転落」が7人、「交通事故(道路)」が4人となっています。



3 休業4日以上死傷災害発生状況

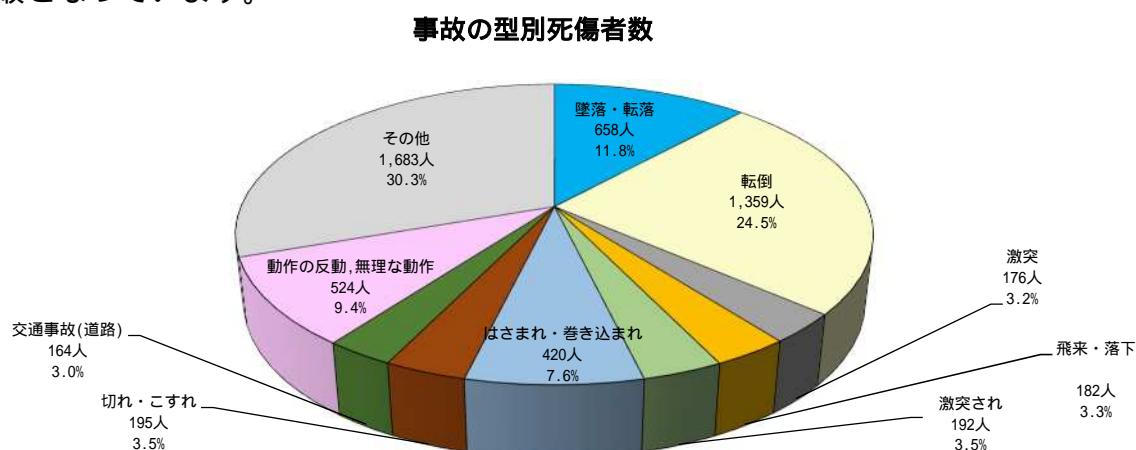
(1) 業種別の状況【資料番号3】

業種別では保健・衛生業が1,785人と最も多く、製造業が746人、商業が651人、陸上貨物運送事業が504人、建設業が484人の順となっています。



(2) 事故の型別の状況【資料番号4】

事故の型別では、「転倒」が1,359人で最も多く、「墜落・転落」が658人、「動作の反動,無理な動作」が524人、「はさまれ・巻き込まれ」が420人、「切れ・こすれ」が195人の順となっています。



4 北海道労働局の対応

北海道における労働災害防止のために、災害多発業種に対して業種ごとの災害特性に応じた重点的な災害防止対策を推進するほか、転倒災害等の業種を問わず多発している災害についても災害態様に応じた災害防止対策を推進しています。

(主な取組の推進)

- 「建設工事追い込み期労働災害防止運動」を実施します。

建設業の労働災害は、例年追い込み期に当たる10月から12月に多発する傾向にあり、これから迎える建設工事の追い込み期に、墜落・転落災害防止を最重点として、重機等災害、崩壊・倒壊災害、交通労働災害、急性中毒、火災の各防止対策を重点実施事項として、本年度も「建設工事追い込み期労働災害防止運動」を展開します。

なお、10月25日から10月31日までを「建設安全週間」と定め、この期間に「建設工事パトロール」を官民が一体となって集中的に取り組むこととしています。

【取組期間：令和3年10月1日～12月31日】

「第73回 全国労働衛生週間」

(本週間：令和4年10月1日～7日、準備期間：令和4年9月1日～30日)

北海道労働局では、企業をはじめ関係各界での労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の一層の促進を図るため、全国労働衛生週間の実施について各関係団体等に協力を依頼します。本年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、いわゆる、“3つの密”を避けることを徹底しつつ、各事業場の労使協力のもと、全国労働衛生週間の取組を進めます。

今年のスローガンは

「あなたの健康があってこそ 笑顔があふれる健康職場」です。

- 職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため「取組の5つのポイント」を確認しましょう！

厚生労働省では、職場における新型コロナウイルス感染症対策の基本的事項である、取組の5つのポイントと感染防止対策の実践例を示し、事業場の実態に即した、実行可能な感染拡大防止対策の推進を呼びかけています。

参考：リーフレットのダウンロードはこちらです。

厚生労働省ホームページ内に移動します。

URL <https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000736900.pdf>



【添付資料】

資料番号	1	令和4年における死亡災害発生状況
資料番号	2	令和4年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)
資料番号	3	令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
資料番号	4	令和4年 業種別労働災害発生状況(その1、その2)
資料番号	5	令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
資料番号	6	令和4年 署別・業種別死亡災害発生状況
資料番号	7	令和4年 死亡労働災害の概要(令和4年8月把握分)
資料番号	8	令和4年 有害物質による急性中毒等発生状況

労働災害統計表について

各年の災害統計は、翌年3月末までに把握した12月末までの休業4日以上災害情報を集計して、統計値を確定しています。

令和4年の災害統計は、令和5年3月31日以降に確定することとなります。

令和4年における死亡災害発生状況 [速報]

令和4年1月1日～令和4年8月31日

北海道労働局

業種	令和4年		令和3年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	25 (4)	100.0	31 (4)	100.0	-6	-19.4	-6	-22.2
製造業	5 ()	20.0	1 ()	3.2	4	400.0	4	400.0
鉱業	()		()			-		-
建設業	10 (1)	40.0	12 (1)	38.7	-2	-16.7	-2	-18.2
交通運輸事業	()		()			-		-
陸上貨物運送事業	4 (1)	16.0	5 (2)	16.1	-1	-20.0		
港湾運送業	()		()			-		-
林業	()		1 ()	3.2	-1	-100.0	-1	-100.0
その他の事業	6 (2)	24.0	12 (1)	38.7	-6	-50.0	-7	-63.6

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

令和4年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

令和4年1月1日～令和4年8月31日

北海道労働局

業種	令和4年		令和3年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	6 (2)	100.0	12 (1)	100.0	-6	-50.0	-7	-63.6
小売業	3 (2)	50.0	()		3	-	1	-
医療保健業	()		1 (1)	8.3	-1	-100.0		-
社会福祉施設	()		()			-		-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 ()	16.7	1 ()	8.3				
ビルメンテナンス業	()		1 ()	8.3	-1	-100.0	-1	-100.0
ゴルフ場の事業	()		()			-		-
警備業	()		1 ()	8.3	-1	-100.0	-1	-100.0
農業・畜産業	1 ()	16.7	2 ()	16.7	-1	-50.0	-1	-50.0
水産業	()		3 ()	25.0	-3	-100.0	-3	-100.0
その他	1 ()	16.7	3 ()	25.0	-2	-66.7	-2	-66.7

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年8月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号										起因物番号																												
	1	2	3	4	5	6-2	7-2	その他	計	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99				
事故の型	製業	鉱山業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	計	原動機	動力機	木材加工機	建設用機械	金属加工用機械	一般動力機械	車両系木材伐出機械等	動力クレーン等	動力搬送機	乗用車	圧力容器	化学装置	溶接装置	炉・窯等	電気設備	入力機械工具等	用器具	その他の装置設備	仮設物・建築物・構築物等	危険物・有害物等	材料	荷	自然環境等	その他の起因物	起因物なし	分類不能		
1 墜落、転落				4	1						2						1	1										1	2					1					
2 転倒																																							
3 激突																																							
4 飛来、落下				1							1																1			1									
5 崩壊、倒壊	1			1							2																												
6 激突され																																							
7 はさまれ、巻き込まれ	3			2	2						1				1				1	6																			
8 切れ、こすれ																																							
9 踏抜き																																							
10 おぼれ																																							
11 高温、低温の物との接触				1							1																									1			
12 有害物等との接触																																							
13 感電																																							
14 爆発																																							
15 破裂																																							
16 火災																																							
17 交通事故(道路)				1	1						2																												
18 交通事故(その他)																																							
19 動作の反動・無理な動作																																							
90 その他	1										1																											1	
99 分類不能																																							
合計	5			10	4						6				1		1	1	1	1	7	4					1		1	4			1	2	1				

業種別労働災害発生状況 その1

令和4年1月1日～令和4年8月31日

北海道労働局

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	25	5,528	5,553	31	4,701	4,732	821	17.3	100.0	59	8,088	8,147
製造業	5	741	746	1	706	707	39	5.5	13.4	3	1,214	1,217
食料品	1	384	385		365	365	20	5.5	6.9		654	654
木材・家具		57	57		68	68	-11	-16.2	1.0	1	111	112
紙・印刷		19	19		10	10	9	90.0	0.3		19	19
窯業・土石		43	43		33	33	10	30.3	0.8	1	48	49
金属・機械		101	101		94	94	7	7.4	1.8		172	172
その他	4	137	141	1	136	137	4	2.9	2.5	1	210	211
鉱業		2	2		1	1	1	100.0	0.0		2	2
土石採取業		12	12		10	10	2	20.0	0.2	1	23	24
建設業	10	474	484	12	495	507	-23	-4.5	8.7	20	939	959
土木工事業	4	160	164	8	169	177	-13	-7.3	3.0	11	348	359
建築工事業	3	207	210	1	211	212	-2	-0.9	3.8	6	377	383
木造建築業		58	58	1	63	64	-6	-9.4	1.0	1	118	119
その他	3	49	52	2	52	54	-2	-3.7	0.9	2	96	98
交通運輸事業		175	175		145	145	30	20.7	3.2	1	241	242
陸上貨物運送事業	4	500	504	5	482	487	17	3.5	9.1	8	856	864
道路貨物運送	4	470	474	5	439	444	30	6.8	8.5	8	795	803
陸上貨物取扱		30	30		43	43	-13	-30.2	0.5		61	61
港湾運送業		9	9		16	16	-7	-43.8	0.2		21	21
林業		59	59	1	40	41	18	43.9	1.1	1	73	74
水産業		72	72	3	62	65	7	10.8	1.3	3	127	130
商業	3	648	651	1	711	712	-61	-8.6	11.7	8	1,232	1,240
清掃・と畜業	1	281	282	2	232	234	48	20.5	5.1	2	398	400
上記以外の事業	2	2,555	2,557	6	1,801	1,807	750	41.5	46.0	12	2,962	2,974

(注) 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

第13次労働災害防止計画進捗状況

8月末同月比

	死亡災害			死傷災害		
	被災者数	増減数	増減率	被災者数	増減数	増減率
基準年(平成29年)	43			3,589		
5年目(令和4年)	25	-18	-41.9%	5,553	1,964	54.7%

第13次労働災害防止計画の目標
 平成29年と比較して令和4年までに…
 ・死亡者数を20%以上減少させる。
 ・死傷者数を5%以上減少させる。

業種別労働災害発生状況 その2

令和4年1月1日～令和4年8月31日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	1	43	44	2	55	57	-13	-22.8	0.8	3	112	115
畜産業		187	187		171	171	16	9.4	3.4	1	275	276
金融・広告業		21	21		30	30	-9	-30.0	0.4	1	46	47
映画・演劇業		2	2		2	2			0.0		5	5
通信業		121	121		104	104	17	16.3	2.2		156	156
教育・研究業	1	37	38		46	46	-8	-17.4	0.7	1	74	75
保健衛生業		1,785	1,785	1	977	978	807	82.5	32.1	1	1,557	1,558
接客娯楽業		202	202	2	218	220	-18	-8.2	3.6	3	382	385
その他の事業		157	157	1	198	199	-42	-21.1	2.8	2	355	357
合計	2	2,555	2,557	6	1,801	1,807	750	41.5	46.0	12	2,962	2,974

「第三次産業」の内訳

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	3	648	651	1	711	712	-61	-8.6	11.7	8	1,232	1,240
うち 小売業	3	517	520		577	577	-57	-9.9	9.4	5	975	980
金融・広告業		21	21		30	30	-9	-30.0	0.4	1	46	47
映画・演劇業		2	2		2	2			0.0		5	5
通信業		121	121		104	104	17	16.3	2.2		156	156
教育・研究業	1	37	38		46	46	-8	-17.4	0.7	1	74	75
保健・衛生業		1,785	1,785	1	977	978	807	82.5	32.1	1	1,557	1,558
うち 社会福祉施設		900	900		611	611	289	47.3	16.2		994	994
うち 医療保健業		874	874	1	359	360	514	142.8	15.7	1	550	551
接客・娯楽業		202	202	2	218	220	-18	-8.2	3.6	3	382	385
うち 飲食店		97	97		104	104	-7	-6.7	1.7	1	185	186
うち 旅館業		41	41	1	60	61	-20	-32.8	0.7	1	102	103
うち ゴルフ場		23	23		25	25	-2	-8.0	0.4		46	46
清掃・と畜業	1	281	282	2	232	234	48	20.5	5.1	2	398	400
その他の事業		157	157	1	198	199	-42	-21.1	2.8	2	355	357
うち 警備業		38	38	1	46	47	-9	-19.1	0.7	1	84	85
合計	5	3,254	3,259	7	2,518	2,525	734	29.1	58.7	18	4,205	4,223

令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年8月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号										起因物番号										99																
	業種	1 製	2 鋳	3 土	4 建	5 道	6-2 陸	7-2 港	林	水	そ	11 起	12 原	13 動	14 木	15 建	16 金	17 一	21 車	22 動		23 乗	31 圧	32 化	33 溶	34 炉	35 電	36 人	37 用	39 所	41 仮	51 危	52 材	61 荷	71 自	91 所	92 起
1 墜落・転落	82		2	167	133	8	5	2	5	4	250	658		1	12		4	4	7	152	10		1				3	163	9	236		6	9	39		2	
2 転倒	181	1	3	83	112	92	10		5	17	855	1359			8		5		1	32	26					5	30	67	18	525		10	13	572	3	44	
3 激突	31		2	14	24	2			3	6	94	176			2		3	1		27	12						12	30	12	47		4	6	15	1	4	
4 飛来・落下	48		1	40	23		1		12	3	54	182		1	7	2	14		4	11	2					1	13	29	4	4	1	41	29	16	3		
5 崩壊・倒壊	14			12	7	1			3	1	12	50			1		1			3	1						4	5		9		8	12	6			
6 激突され	21			24	20	2	2	2	10	6	105	192			2	7		8	4	5	16	8				1	17	13	5	4		10	8	79	3	2	
7 はさまれ・巻き込まれ	144		2	48	47	1	3	2	5	23	145	420	1	10	8	15	19	78	2	16	82	23					38	28	13	19		20	16	30		2	
8 切れ・こすれ	48		1	45	3				8	2	88	195		39		11	36										69	8	5	3		18	2	4			
9 踏抜き	1			3	1						7	12																1		3		4			4		
10 おぼれ											1	1																						1			
11 高温・低温の物との接触	22			8	2	1					28	61					4				1						2	10	7	2	2	7	2	15		2	
12 有害物等との接触	4			1							8	13								1										10				2			
13 感電	1											1														1											
14 爆発											1	1												1													
15 破裂					1						1	2																	2								
16 火災				2								2			1															1							
17 交通事故(道路)	9			13	24	31			2		85	164				2	1			26	130								1						4		
18 交通事故(その他)											1	1									1																
19 動作の反動・無理な動作	45		1	19	74	23	8	2	6	9	337	524			3		2		2	23	14						13	14	5	83		7	70	35	26	227	
90 その他	95	1		5	3	14	1	1		1	1,418	1539																						12	1,522	5	
99 分類不能																																					
合計	746	2	12	484	474	175	30	9	59	72	3490	5553	1	10	51	58	32	156	11	35	373	228		1	4	4	8	201	368	80	936	14	135	167	830	1562	288

令和4年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年8月31日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製 造 業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建 設 業	道路貨物 運 送 業	その 他 の 運 輸 業	陸 上 貨 物 取 扱 業	港湾運送業	林 業	水 産 業		
署別													
札幌中央	1				2							2	5
札幌東					2								2
函 館					2							1	3
小 樽													
岩見沢													
旭 川												2	2
帯 広												1	1
滝 川	1				1								2
北 見					1								1
室 蘭							1						1
釧 路	1						2						3
名 寄													
留 萌													
稚 内													
浦 河					1								1
苫小牧	2				1	1							4
倶知安													
計	5				10	4						6	25

死亡労働災害の概要(令和4年8月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	5	8時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	はさまれ まれ、巻き込	動力運搬機 224	被災者は、砕石を運ぶダンプトラックの運転手だが、配送先にて砕石の貯蔵サイロの空き状況を確認するため当該サイロ上部に上がり、当該サイロに砕石を運ぶコンベヤーの覆いに設けられた扉を開け、内部を覗き込んだときに、扉とコンベヤー上を動くトリッパーの間に挟まれたもの。
4	8	9時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	環7 境1 等1	被災者は、ダム放水路付近の法面で、刈払機を用いて法面上方を向いて草刈り作業に従事していたものであるが、法面下部から水面まで約3メートル、水深約2メートルの放水路に沈んでいるのを発見されたもの。
4	8	13時台	食品製造業	100人以上 299人	崩壊、倒壊	荷 611	被災者は、工場の冷凍庫内に保管してある商品を取るため、同庫内に立ち入ったところ、約3.6mの高さまでパレット3段積みで重ねられていた袋物の荷が崩れてきて、その下敷きとなったもの。冷凍庫内では、同僚の労働者がフォークリフトを用いパレット上に積まれた袋物の荷の運搬を行っていた。
4	8	9時台	その他の建設業	10人未満	墜落、転落	その他の装置・設備 391	被災者は、苫東厚真発電所内の石炭灰貯蔵サイロの灰出し作業中、当該サイロ内のホッパー上に堆積した灰(約3メートル程度)の上に乗る、バキュームホースを用いて当該灰を吸い出していたところ、堆積灰の中に埋没したものの。
4	8	15時台	建築工事業	10人未満	飛来、落下	物 仮設物、 構築物、 建築物等 415	被災者は木造アパート解体工事において、電動チェーンソーを使用し梁を切断する作業を行っていたが、床にうつぶせの状態で見えているところを発見されたもの。倒れていた被災者のそばにT字状の梁が落下していた。

令和4年 有害物質による急性中毒等発生状況

北海道労働局 令和4年8月末現在

	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況	
1	3	14時台	その他の建設業	10人未満	<p>商業ビルの店舗内において、ガソリンエンジン式高圧洗浄機を用いて排水管の洗浄作業を代表者1名ほか4名で行っていたところ、当該洗浄機の排気ガスが店舗内に充満し、当該洗浄機付近で作業していた労働者1名が倒れたため、代表者は社用車で作業員全員を休憩させた。他の労働者1名も寒気を訴えたため、代表者は店舗経営者に救急車を呼ばせ、作業員全員を医療機関に搬送させた結果、全員が一酸化炭素中毒と診断されたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者4人(休業4日以上)]</p>	
2	4	9時台	浴場業	30人以上50人未満	<p>男性トイレを清掃中、便器に酸性洗剤をかけ、浸している間に異臭が発生し、気分が悪くなり、病院で「塩素ガス中毒」と診断され入院した。</p> <p>[その他の中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>	
3	6	11時台	その他の事業	50人以上100人未満	<p>倉庫内において、内燃式フォークリフトを運転し、出庫及び破れたフレコンの詰め替え作業等を行っていたところ、具合が悪くなったもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>	
合計	発生件数	3	内訳	<p>一酸化炭素中毒 2件 酸素欠乏症 0件 硫化水素中毒 0件 その他の中毒 1件</p>		
	被災者数	6	内訳	<p>死亡 0人 休業4日以上 2人 休業4日未満 4人 不休 0人</p>		